

2019 3/26

No.2087

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



三浦半島最南端に位置する城ヶ島（三浦市）に、ウミウが越冬のために飛来している。島内にある県立城ヶ島公園南側の崖はウミウやヒメウなどの生息地になっていて、公園内の展望台から確認できる。



contents

視点・点描	3
跡地利用は住民目線で	
講演録	4
(第10回神奈川TOPセミナー基調講演) AI時代を勝ち残る企業の条件 経済ジャーナリスト 財部 誠一	
デモクラシーの現場から 第5回	8
2 長老の政治闘争力	
社 会	10
追悼と慰霊で貫かれた30年 「天皇陛下の平成」保阪氏講演	
国 際	12
ファーウェイ排除に逆らった英国 経済ブロック化に高まる懸念	
くらし2019	14
外国人介護労働者と最低賃金	
アジアの風	16
アイドル・ガイドラインの奇妙さ	
NNAアジア経済レポート	17
神奈川景気データファイル	18
神奈川景気データファイル	19

事務局だより

◇2019年4月特別講演会
4月22日(月)午後1時30分～
3時
ロイヤルホールヨコハマ5階「リ
ビエラの間」
講師は政治評論家の有馬晴海
さん
演題は「安倍1強と改憲議論～
統一地方選から参院選へ～」

【お知らせ】神奈川政経懇話会ではホームページ(www.kanagawa-seikon.jp)に会員コーナーを設けました。新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな情報を掲載します。問い合わせは事務局 ☎045(226)2121。

視点 点描



跡地利用は住民目線で

川崎市で宮前区役所の移転問題がくすぶっている。東急田園都市線鷺沼駅前での再開発事業に合わせ、市が同区役所と市民館、図書館を同駅前に移転する基本方針案を決めたことに区役所周辺の住民らが反発。「市民合意のない移転には賛成できない」「防災面で問題がある」などとして1万3858通の市民意見を市に提出した。

パブリックコメントの8割にあたり、住民はさらに市議会議員に公開質問状を送って賛否を問うことなども検討し、市議選（4月7日投開票）での争点化も視野にいれているようだ。

同駅前の再開発計画は、現在のバスロータリーや大型商業施設など約1・9畝が対象で、混雑するロータリーを広げ、バス路線を充

実させた上で、文化・交流・子育て支援施設などを一体的に整備する構想だった。2017年8月に地権者のJ A セレサ川崎、東急電鉄、横浜銀行など5団体が準備組合を設立、21年度の工事着手を目指して協議が進められてきた。これを好機と17年秋、市全町内会連合会や鷺沼駅周辺の町内会・商店会長でつくる再開発推進協議会が区役所などの鷺沼移転の要望書を市に提出し、移転案が急浮上した。

もともと区役所や市民館は、最寄り駅の宮前平駅からは急坂を上らなければならず、アクセスの不便さが指摘されていた。建物も築30年以上が経過していることもあり、市は昨年2月に移転検討を公表。ワークショップやフォーラム、区民アンケートなどを実施するなどし、区民の意見集約を慎重に重ねて移転を決断した。

鷺沼駅周辺は、隣のためプラー

ザ駅や再開発された溝の口駅周辺に比べ、高度利用が遅れていた。都内の沿線の再開発がほぼ終わった東急は、こうした鷺沼や南町田など神奈川方面での再開発に取り組んでいる最中。市側にとっても、ベッドタウン化した同区の高齢化が進む中で、若年人口を増やすなどの活性化は課題だった。対策として、都市機能を集積した核づくりができる、またとないチャンスととらえたのは当然だろう。

「迷惑施設」の新設や「人気施設」の転出に、反対が起きるのは世の常。跡地周辺がさびれていく懸念がないよう、教育機関など若年層が集まる施設の誘致など市は有効利用を早急に検討していく必要がある。その上で、住民の理解が得られるよう丁寧の説明していくことが求められている。

（神奈川新聞社川崎総局長

龍村 誠）